

杉並区多文化共生基本方針（案）に対する区民等の意見（全文）

※ 提出された 23 件の意見について、個人情報などを除き、原則として全文を掲載しています。

番号	意見
1	<p>私にもオーストラリア人の友人がいて、彼との交流から非常に多くの刺激を受けています。彼のように覚悟を決めて日本に定住し、日本の文化に貢献しようとしている方々へは、今回の取り組みは心強いものになるのかなと思います。</p> <p>一方で、移民に悩む国(地域)の様にならないように注意深く取り組みを行う必要があると思います。間違っても、日本で稼ごうと思っている外国人に「杉並に行けばなんとでもなる。」などと思われぬようにしないといけないですね。</p>
2	<p>全てがふわっとしていていつまでに何をするか、数字が一つもないしよく分からない。外国人を増やすようですが、なぜ多文化共生が杉並区に必要なのかを具体的に知りたい。外国人と貧困層の増加により杉並区全体で盗難含めた治安が悪化しているのは、データでも出ている。具体的に治安悪化を改善する為、どう共生して行くつもりなのか知りたい。</p>
3	<p>文化・交流課ご担当様。児童館を「すべての」子ども、すなわち日本人のみならず、外国国籍住民の子どもも対象とした、その居場所兼交流の場とするために、児童青少年課、関連諸団体と連携して、児童館で定期的にみんなが一緒に活動するイベント(例えばゲームやものづくりなど)を開催することを提案します。</p>
4	<p>外国籍区民と外国籍住民と言葉を使い分けていますが、その違いは何でしょうか。また違いに意味はありますか？</p> <p>いずれにしても在留資格や住民票を持たない外国人は対象外であることを明記してください。そのような外国人は「すべての区民」には含まれません。</p> <p>「支援」から「共生」へというのは良いと思いますが、まさに「互いの文化を認め合う」ことがなければ共生できません。日本から他国への一方向の支援ではなく、日本を理解し尊重してもらう態度があって初めて多文化共生が成り立ちます。</p>
5	<p>「すべての区民が人権を尊重し、互いの文化を認め合い、安心して暮らせる地域づくり」という杉並区多文化共生基本方針の目標は万人が賛同する内容であると思います。</p> <p>一方、在留外国人に関しては、移民・難民問題、入国管理制度、外国人住民投票権といった、人によって意見が異なる政治的なテーマが存在します。多文化共生推進の取り組みの中で、こうした政治的なテーマが地域において取り上げられると、地域社会に混乱や対立を生むおそれがあると思います。例えば、お隣の市における外国人住民投票権の条例に関する議論では、住民間で激しい対立が生じました。また、2023年に杉並区で開催された移民・難民フェス(杉並区が後援)において参加者間で深刻なトラブルがあったとの報道がありました。個人や民間団体が在留外国人に関する政治的な主張をすることやイベント等を開催することは自由ですが、地域行政である杉並区は、地域における混乱や対立を回避するうえで、こうした政治的なテーマについては中立的かつ抑制的なスタンスをとることが望ましく、そうした内容を基本方針の中に明記しておくのが良いのではと思います。</p> <p>具体的には、「杉並区は、多文化共生推進において、移民・難民問題、入国管理制度、外国人住民投票権など、地方自治で議論をすることになじまないテーマに関する取り組みは行わない。また、杉並区はそうしたテーマに関する個人や民間団体の取り組み(集会、イベントなど)には後援、協力といった関与をしない」という主旨の文言を基本方針に含めてはと思います。</p>

番号	意見
6	<p>杉並区民の30代既婚女性(日本人)です。広報すぎなみを拝読しました。</p> <p>普段このような場にご意見をお送りすることはないのですが、外国籍の方に対しての支援に關しましてどうしてもお伝えしたい事があり、メールをお送りすることに致しました。</p> <p>私は今、同じ建物に住む外国籍の方とのトラブルで毎日苦しんでおります。ここ数年で、住んでいるマンションに外国籍の方がたくさん引っ越してくるようになりました。</p> <p>ゴミは分別せずに黒いゴミ袋で出す→引き取って貰えないゴミは路上に放置、真夜中に家のドアを開けたまま団地で BBQ、その後家の前に大量の生ゴミを放置、真夜中にマンション敷地内でお酒を飲んで大声で会話(何度も警察に通報しました)、また上階も外国人の家族が住むようになり、毎日動物のような大きな足音や騒音で、早朝から私達家族を悩ませています。私は適応障害になりました。</p> <p>管理会社にも何度も相談をしていますが、移民問題はもはやこの建物だけの問題では無くなっています。</p> <p>外でも、夜に善福寺川の橋の上で直に座ってお酒を飲みながら会話しているような外国人が居たり、団地で横一列になって商業施設の中を歩いていたりしています。杉並区の治安は今、外国籍の方によりどんどん悪くなっています。</p> <p>ご存知でしょうか。</p> <p>広報すぎなみに、日本語の支援や生活相談窓口等書いてありました。素敵なことだと思います。どんな国の方にも優しく支援。</p> <p>しかしそれはあくまで、被害の無い所に住んでいる方々だからこそ唱えられる、表向きの美しい理想にすぎないと思います。</p> <p>何よりも一番重要なのは、外国籍の方の居心地をよくする事ではありません。まずこの国に住まう日本国民に対して、区民に対しての住みやすい場所であり続ける杉並区だと考えます。</p> <p>それは私が日本人で、ここが日本だからです。</p> <p>個人的には移民の移住支援は断固反対です。</p> <p>この様な杉並区の移民問題がある中で、尚も外国籍の方への支援を！と今後も変わらず推進をしていくのであるならば、どうか日本の文化や暮らす上でのマナーを、外国籍の方が杉並区に“住まわれる前に”しっかりと区から伝えて頂き、その上でご理解頂けたら印鑑やサインも貰い、日本人に迷惑をかけないようなしっかりとした厳しい取り決めをして頂きたいです。</p> <p>このままでは近い未来は必ず、杉並区も他の地域と全く同じ問題に直面します。</p> <p>そうなってしまってからではもう遅いです。</p> <p>美しい世の中にする為には、守ってもらうべきルールは必ずあり、伝える事は絶対に必要です。</p> <p>どうか区長様へもお伝えくださいませ。</p> <p>ご検討の程、何卒よろしくお願ひいたします。</p>

番号	意見
7	<p>杉並区が区民のためにいろいろな施策を検討してくださっているのに関心を持って広報すぎなみを拝読しています。</p> <p>多文化共生や子供の居場所作りについては今後も非常に大切で弱者に対する支援を継続していくべきだと考えています。</p> <p>そんな中で、棄民世代と言われている、氷河期世代の就職困難はいつまでも放置されており、非正規社員としてすでに 25 年以上働き続けているのに正規社員への道はなく、このまま貧困の老後を迎える人々はその他の世代の数よりも多くなる見込みです。</p> <p>今まで見ないふりをされ続けて、働くチャンスを与えられず、就職訓練などの支援もこの世代にだけは消極的な理由が分からないままです。</p> <p>もっと氷河期世代の経済的安定支援を手厚く考えていただきたいと思います。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
8	<p>基本方針なので、事業化の計画や予算配分などについて詳細な説明がないのは仕方のないことだと思いますが、今後この策定を無駄にしないためにも、先進事例にならって数年おきに調査を繰り返し改訂版を作成すべきだと思います。</p> <p>働く外国籍住民にとって他者と繋がりやすい/学びやすい場をどう創出するのか？(平日以外の教室の運営は誰が担うのか)</p> <p>教育委員会はどのように外国ルーツの子どもの問題に関わっていくつもりなのか？(ニーズを把握するために専門のスタッフがいる部署を作るのか、取り出しの時間数を増やすのか)</p> <p>民間団体とどう連携するのか？</p> <p>この先、より希望を見出せるような計画が生まれることを願っております。</p>
9	<p>多文化共生は害悪だ。</p>
10	<p>【改善案・意見】</p> <p>・p.12 にあるこの方針の周知に関して、概要版の作成と多言語化が挙げられていましたが、掲載する場所や発信回数も大切だと感じました。</p> <p>作成したPDF ファイルを丸々HPなどに掲載するだけでなく、細切れにした内容をX やinstagram、Facebook などでも頻りに発信する(例えば、今日は「やさしい日本語について」、明日は「交流の場の紹介」・・・など)と、区民が目にする機会も多くなるのではないかと思いますし、特に若者にも情報が届きやすくなると思います。</p> <p>・多文化共生を促進する交流の場、日本語教室などがボランティアベースで考えられている印象を受けました。ボランティアだけだと、その活動を継続していくための工夫が必要になるのではないかと感じました。また、日本語教育人材がいたとしても、ボランティアだけでは生活していくのが難しいというのが現状だと思います。待遇向上のために仕事としてのポストがあったら、今いる日本語教育人材が活躍できるだけでなく、将来的に日本語教育人材を目指す人も増加していくのではないかと感じました。</p> <p>○他団体や専門家との連携に関して</p> <p>多文化共生を実現するには、杉並区、そして区民はもちろんのこと、現在進行形で活動をしている団体や専門家との連携が不可欠だと思います。指針案全体を通して、「連携」「協働」の要素をもう少し取り入れてもいいように感じました。</p> <p>以下、いくつかのポイントをコメントします。</p> <p>①p.4 「図1-1 杉並区多文化共生基本方針の位置づけ」に関して</p>

この図に、「他団体や専門家との連携・協力」を示すという案もあると思います。図に示さないとしても、注で言及すると、イメージがしやすいと思います。

②p.10 「学校と連携」という部分はとても大切だと思います。ぜひ入れてほしいです。

③p.15 「日本語教育機会の確保」、p.22「相談機能の充実」、他団体・専門家との連携が不可欠だと思います。現に協働していると思いますが、ここでも言及するといいいように思います。

○図やグラフに関して

①p.6 の下のグラフ「杉並区総人口に占める外国国籍住民人口割合の推移」に関して他のグラフのように、グラフ上に数値(外国国籍住民人口／割合)を示した方がわかりやすいと思います。

②p.8 のグラフ「在留資格別外国国籍住民人口の推移」に関して

具体的な人数を示していないのが気になりました。推移を比較するのが目的であればそのままでいいですが、具体的な人数が気になる方もいるかもしれません。また、「その他」の具体的な内容が気になりました。

○やさしい日本語に関して

・本指針案において「やさしい日本語」はとても重要な位置づけだと思います。p.13 に少し説明がありますが、足りないように感じました。「『やさしい日本語』はどこかで聞いたことはあるけれど、具体的にはよくわからない」という区民も多いと思います。紙幅の関係もあるかと思いますが、コラムのようなかたちで「やさしい日本語とはどのようなものか」「どのような場面で活用できるのか」など、わかりやすく説明するのはどうでしょうか。

・p.19 「多文化共生を進める人材の育成」

「●日常生活で困ったときは誰に相談していますか？」の回答に「知人・友人(日本人以外)」の回答数も併記した方がいいと思いました。日本国籍区民と外国国籍区民をつなぐ必要性がデータとして明確に表れていると思うからです。

・やさしい日本語や多言語での情報提供の必要性が分かりました。杉並区が提供する情報は外国人にとって有効的な情報が多くあると思います。p.17 の「行政情報の多言語化と合わせ、外国国籍等区民に関わる情報を集約し、誰もが必要な情報にたどり着くことができる環境を整備します」という点から、情報過多な時代において正確な情報を入手するために、発信方法の見直しも必要であると思います。

番号	意見
11	<p>杉並区多文化共生基本方針に賛成いたします。</p> <p>私たちの社会では、すでに多様な人々がともに学び、働き、暮らしています。しかし、昨今では、外国人や外国にルーツを持つ人々に対するいわれのない攻撃が激化しており、私たちの社会を分断し、破壊しようとする圧力が強くなっていると感じています。杉並区では、どのようなルーツを持つ人であっても笑顔で安心して働き・学び・ともに生活をしてほしい。これは多くの区民共通の願いではないでしょうか。</p> <p>少子高齢化を迎えたこの社会で、飲食店やコンビニなどでも多くの外国人の皆さんに働いてもらわなくては、すでに社会の様々なシステムが稼働しなくなっている現状で特に気になるのは、外国人をまるで犯罪者であるかのように断罪し、排除しようとする動きです。</p> <p>闇バイトなどによる重大犯罪の多発など日本人のおこした事件が多いにもかかわらず、まるでそのような事件などなかったかのように振舞い治安に対する責任を特定の属性に結び付けようとするのは、関東大震災における虐殺など過去にも惨劇を呼び起こした原因でもあり、世界的にも危険視される思想です。残念ながら、杉並区の区議会にもトランジェンダーや外国人をまるで犯罪者であるかのように危険視する議員がいると聞いています。</p> <p>これは、日本における罪刑法定主義など法治国家としての社会的な原則すら無視し、属人的な政治体制に回帰しようとする兆候として恐怖を感じます。日本人男性という属性の私ですらそのように感じるのですから、女性や外国人にとってはなおさらではないでしょうか。</p> <p>このような社会状況は、警察によるレイシャルプロファイリングなどからも大きな悪影響が及ぼされているものではないでしょうか。杉並区として杉並署・荻窪書・高井戸署などにも申し入れをする必要があると考えます。</p> <p>鎖国をして発展した国など、世界史上存在しません。多様な文化を受け入れ、それらが交わる結節点として機能した場所こそが発展するのです。</p> <p>杉並区が平和で、様々な属性を持つ人々が自由を享受できる調和のとれた多文化共生社会としてこれからも発展することを願ってやみません。</p>
12	<p>多文化共生基本方針の初めての策定に賛成する。</p> <p>区内に外国ルーツの人たちが多く居住し活動している中で、地域の中で外国ルーツの多様な文化を持つ人たちと共生してゆくことは必須である。</p> <p>そのためには、まず、共生しようという意識を日本人側が有すべきであり、外国人に対するヘイトをまき散らすような活動に対しては、行政も、きちんと、対応し、防止することが必要であり、この基本方針で不足するようであれば、別途の方策も検討すべきと考える。</p> <p>次に、共生のために必要なコミュニケーションの確保のために、外国ルーツの方のために日本語教育の提供が必要であり日本語教室の多くの設置を行うべきである。小中学校では、親と一緒に日本に移住してきた子どもが授業についていけないといった問題が生じているので、日本語指導員などの必要な人員を学校に手配するなどの制度を設ける必要がある。また、同時に、こうした場合、保護者の方が、より日本語が分からない、といったケースも多いので、保護者への対応の制度も必要であり。地域に多文化共生のコーディネーターなどを育てることが望ましい。高校生にとっても、同様であり、都立高校などと区の連携が必要と考える。</p> <p>この中では通訳の果たす役割が大きいので、人員の確保と利用ができるよう、NGO などとの連携を行うことが必要である。成功例として、保健所が NGO と一緒に行った女性に対する周産期の対応の協働事業があるので、参考にされたい。</p>

番号	意見
13	<p>杉並区が2024年11月20日に発表した杉並区多文化共生基本方針(案)に対して、以下の意見を提出します。</p> <p>外国由来の区民・住民もそうでない区民・住民もお互い、理解・尊重しつつ暮らせる杉並区となる事を願い書きましたので、ご高覧の上、できる限り今後の区の政策に活かして欲しいと願います。</p> <p>1, 杉並区多文化共生基本方針、杉並区が目指すべき目標「すべての区民が人権を尊重し、互いの文化を認め合い、安心して暮らせる地域づくり」について</p> <p>「外国由来の人々：国籍に関係なく母語が外国語の人々(以下、外国由来者)に対して”偏見”を持つ区民は、区議会議員や職員の中にもいるように感じる。</p> <p>まず、私たち「外国由来でない人々(以下、非外国由来者)」が、現在の日常生活の維持にどれだけ、彼らや彼女らの労働に負っているかを知ることが大事。そのための研修をまず、区議会議員や職員に繰り返す必要があるのではないかと。</p> <p>さらには、親の労働などで来日させられている子ども達が、日本で十分な教育を受けるための日本語教育や、家族のアイデンティティを保つための母語教育の必要にまで踏み込んだ研修もなるべく早くやることを要請する。</p> <p>つまり、目標を否定する者ではないが、それを公的な立場から推進する人たちの資質の向上を行わなくてはならないと、区議会議員などの発言から感じているので、上記を意見の最初として書いた。</p> <p>2, 重点項目1 互いを尊重し合える意識の啓発・醸成</p> <p>都立高校で「日本語教室」のボランティアをしているが、外国由来者の子どものために何かしたい人が結構いる事を感じている。しかし、主催者にボランティアにスキルを身に付けさせる余力がなく、杉並区が「やさしい日本語」講座をやってくると、役立つ。ちなみに私は「杉の木大学」で「やさしい日本語講座」に応募したが、希望者多数で落とされた。もっと回数を増やすなり他団体にも呼び掛けるなどして、講座を増やして欲しい。</p> <p>3, 重点項目3 すべての人が活躍できる地域づくり</p> <p>P.18 実施する取組⑦ 安全・安心な生活の確保 について</p> <p>母語が日本語の人もそうでない人も、様々な機会を通じて交流することで、非外国由来者も外国由来者も安心して地域に溶け込め、かつ地域全体のコミュニティと一緒に形成される。その結果、治安も良くなり、災害時の助け合いも進む。したがって積極的に進めて欲しい。</p> <p>4, 重点項目3 すべての人が活躍できる地域づくり</p> <p>P.19 実施する取組⑧ 多文化共生を進める人材の育成</p> <p>P.20 実施する取組⑨ 地域人材の活躍の場の提供</p> <p>P.21 実施する取組⑩ 地域コミュニティへの参加促進 について</p> <p>現在外国由来の人々と交流を行う地域の団体や、地域の外国由来者の団体の参加やアドバイスを受けながら、交流イベントなどを通して、関心のある人々を巻き込むことが必要と思う。</p> <p>5, 重点項目4 多文化共生拠点の整備</p> <p>P.22 実施する取組⑪ 相談機能の充実</p> <p>P.23 実施する取組⑫ 日本語教室の拡充 について</p> <p>子どもについては、日本語レベルに応じて個別指導や、指導員が学校と家庭の連絡などの相談に応じる仕組みを早急に実現して欲しい。</p> <p>現在、私は都立高校で「日本語教室」ボランティアをしているが、小学校から日本で生活している生徒たちでも日本語教育を十分に施されなかった現状に多く接している。そして、ほとんどの生徒は、そのために各教科を習得できていない。</p>

	<p>この事は、将来、日本社会で社会人として貢献できるはずの多くの若者の大切な能力を発揮できなくさせており、社会的にも多大な損失である。</p> <p>以下に、新宿区の例をあげるのでは是非参考にして、早期に実現して欲しい。</p> <p>新宿区 日本語サポート指導(日本語初期指導)</p> <p>https://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/kurashi/nihongosupport/</p> <p>新宿区立教育センター国際理解室のホームページ</p> <p>https://www.shinjuku.ed.jp/~center-a/gyoumu/newdir0/kokusai.html</p> <p>日本語サポート指導(日本語初期指導)</p> <p>日本の幼稚園、小・中学校に編入学してきた日本語がわからない子どもに、母語を話すことのできる指導員が、日本語と日本の学校生活に適応するための個別指導をしています。指導員は、日本語の指導のほかに学校と家庭の連絡などの相談にも応じます。</p> <p>これら、ベースの日本語教育を特に子ども達に充実させたいと、外国由来者の母語での日常生活、就学前相談や進路相談を行って欲しい。現状では</p> <p>外国由来者の子ども達は日本語の聞き取りや話す能力を早く身に着けるため、「ヤングケアラー」のように保護者の”通訳”として駆り出され、勉学に支障をきたしている例を散見する。</p> <p>もちろん、保護者の日本語がゼロベースの区民を対象とした日本語教室を実施を、区内各所で先行している民間団体と協力しながら行って欲しい。</p> <p>6、重点項目4 多文化共生拠点の整備</p> <p>P.24 実施する取組⑬ 相互交流の場の創出 について</p> <p>杉並区は、外国由来者たちの文化や食、宗教などを理解するイベントを、年何回か区内各所でそれぞれ由来する国ごとに行う支援をして欲しい。</p> <p>ヘイトデマである民族の日本での生活をこんなんにさせないためには、日頃から地域に住む人々の理解を育む事が重要なので。</p> <p>以上</p>
14	<p>杉並区在住の者です。</p> <p>杉並区多文化共生基本方針について、意見を提出します。</p> <p>外国から日本に仕事をしに入国するのであれば、最低限の日本語は勉強すべきですし、日本人が主体なので日本人に対する予算に重点的に配分すべきです。なので、生活者としての外国人を対象とした日本語教室に反対です。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
15	<p>杉並区在住の者です。</p> <p>杉並区多文化共生基本方針について、意見を提出します。</p> <p>外国から日本に仕事をしに入国するのであれば、最低限の日本語は勉強すべきですし、日本人が主体なので日本人に対する予算に重点的に配分すべきです。なので、生活者としての外国人を対象とした日本語教室に反対です。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
16	<p>意欲的な方針であり歓迎する。多文化共生は、隣国との平和共生に向けたボトムアップの取組である。「⑨地域人材の活躍の場の提供」や「⑩地域コミュニティへの参加促進」に期待する。</p> <p>他方、我が国には残念ながら、一定数の外国人排斥主義者が存在する。杉並区においても、区議が外国人排斥をおおるヘイトスピーチを議場で行った旨報道されている。このような現状のなか、「①人権と子どもの権利の擁護」の啓発主体の内容は必要最低限に留まっており、事件の発生を予防できるのか危惧される。杉並区においても、ヘイトスピーチ禁止条例を制定すべきである。</p>

番号	意見
17	<p>日本人の差別意識については、歴史的出事だけでなく今現在も一部の人々の間に根強い事が日々気になっております。そんな中で岸本さんが区長になってから少しずつ国籍、人種、性別に関わらず大切にすべき人権への意識が行政にも反映されるようになってきたこと、嬉しく感じています。今後の取り組みで具体的なプログラムや活動が実行されることへの期待と同時に、市民として参加・協力できればと思います。</p> <p>その際受け入れる側としても日本の常識が必ずしも他の国にとっての常識ではないかもしれないこと等、共生は相互の関係で成り立つこと心しておきたいと思います。</p> <p>日本は現政権内での超保守的な意見が強い影響力を持っており、人権意識の低さは国際的にも改善が求められているだけに杉並区の新たな試みが他の自治体にも波及し良い流れを作っていければと思います。</p>
18	<p>私がまだ子どもだった頃、外国人(とわかる人)を見ると、会うと、そっとよけて通るようにしていました。</p> <p>この頃、近くでお仕事されている多くの外国人と声をかわします。あいさつもします。私も彼女、彼らもみんな地域の人です。どう共生社会をつくれればいいのかなどと漠然と考えていた時にこの方針(案)に出会って、ヤッター！という気分です。分断と排外主義が横行する今のこの社会で、身近な「私の街」から多文化共生社会をつくりたいです。まじめにまじめと方針(案)を読ませていただきました。</p> <p>私にできるひとつの提案です。</p> <p>町会のお手つだいいをしています。街の人々とのつながりがそこにはあります。防災のことを学んだり、実践します。</p> <p>この方針ができましたら、担当の部所の方々で出張勉強会をして下さい。みなさんの役に立つ学習ができると思います。多文化共生の杉並区をつくりたいです。</p>
19	<p>杉並区におけるパデルコート設置の提案 ～健康促進とこどもの居場所新設、地域活性化、多文化共生を目指して～</p> <p>1. 提案の趣旨 「こどもの居場所不足」「世代間交流の減少」「地域の安全ネットワークの脆弱化」という課題に対し、新たなスポーツ施設「パデルコート」を設置することを提案します。 パデルというスポーツは、初心者でも楽しめる新しいスポーツで、健康促進だけでなく、コミュニティ形成や多文化共生の促進に寄与する可能性が十分にあります。</p> <p>2. パデルコート設置のメリット</p> <p>■こどもの居場所の増加 パデルは簡単なルールで始められるため、子どもたちが気軽に参加できるスポーツとして適しています。 部活動やクラブ活動だけでなく、放課後のアクティビティとして活用することで、安心して過ごせる居場所を提供します。</p> <p>■世代間交流の促進 高齢者と子どもと一緒に楽しめるスポーツとして、世代間の交流が自然に生まれます。 特に、防犯の観点から、高齢者が子どもたちとの接点を持つことで、地域全体の安全ネットワークが強化にも寄与できると考えます。</p> <p>■多文化共生の促進 パデルはスペイン発祥で、ヨーロッパや中南米を中心に広く親しまれています。スペインでの競技人口はサッカーを抜いて1位になるほどです。</p>

	<p>杉並区に住む外国人住民や留学生との交流を促進することで、多文化共生の実現に貢献します。事実、すでにあるパデルコートでは海外の方と日本人と一緒に楽しむ様子を目にすることができます。</p> <p>国際イベントの開催により、地域の文化的な多様性が杉並区としてさらに豊かになります。</p> <p>■健康促進とコミュニティ活性化</p> <p>幅広い世代が参加できるパデルは、住民の健康寿命の延伸と交流の活性化に寄与します。予約制や初心者向け教室の運営を通じて、多くの住民が定期的に利用できる環境を整備しましょう。</p> <p>■地域の魅力向上と経済効果</p> <p>杉並区の新たなスポーツ拠点として注目されることで、地域の魅力が向上します。パデル関連イベントの開催や訪問者の増加により、地元経済の活性化が期待されます。</p> <p>3. 具体的な設置案</p> <p>■設置場所の候補</p> <p>未使用地、公園の一部スペースや未活用のスポーツ施設を活用。</p> <p>■設置規模</p> <p>初期段階では1～2面のコート設置を提案。利用状況に応じて拡張可能な設計。</p> <p>■運用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約制の導入(区民優先)。 ・高齢者や子ども向けの無料体験会や教室の開催。 ・地域の学校やNPOとの連携による利用促進。 <p>4. 実現可能性と成功事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模コートで設置可能なため、土地や予算の制約がある場合にも対応可能。 ・国際的に流行しているスポーツであることから、近隣地域や観光客を呼び込むポテンシャルがあります。 <p>5.最後に</p> <p>パデルコートの設置は、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるスポーツ施設の提供にとどまらず、防犯ネットワークの強化や多文化共生の促進など、さまざまな課題の解決策となり得ます。区民の健康と幸福を増進し、地域全体の活力を高めるために、パデルコート設置のご検討とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。</p> <p>視察先としては練馬区の善福寺公園テニスクラブにあるパデル東京をご訪問・体験していただくとよいかと思えます。</p> <p>ちなみに日本はジュニアのアジア大会で1位に輝きましたのでそちらの記事もご参照ください。 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000124.000023667.html</p>
20	<p>外国国籍の子どもヒアリングもされていて、とても丁寧に多様で多くの声を取り込んでいる様子が見えがえます。そして、「区民の声」という箇所ですごく可視化している点が素晴らしいと特に思いました。未来がある地域づくりが始まるように感じます。</p>

番号	意見
21	<p>『令和 52 年には 10 人に 1 人が外国国籍住民に！だから今から多文化共生のために取り組む。 * 多文化共生・・・国籍や民族など異なる人々が、互いに文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと』とのこと。</p> <p>国や東京都の動向に合わせ、杉並区でも取り組もうということですが、異議があります。杉並区は杉並区の独自の方針があってもいいと思います。国や都道府県、区などに収める税金の種類は異なるのですから、方針だって異なって然りです。</p> <p>杉並区民もそんな外国国籍住民だらけの未来を望んでいるのでしょうか。まずその調査は必須だと思います。</p> <p>杉並区の基本方針は『すべての区民が人権を尊重し、互いの文化を認め合い、安心して暮らせる地域づくり』なのですから、まずは区民の日本人の意見を尊重してほしいと思います。従来の住民の意識調査をしっかりとやってデータ化してください。本当に杉並区民は『多文化共生』を望んでいるのですか？</p> <p>同じ日本人の中でもトラブルは発生します。ましてや全く違う生き方をしてきた人に、こちらが礼節を持って尊重しても、逆に尊重してもらえとは限りません。しかも簡単な日本語で日本人の価値観を説明して共感してもらえるのでしょうか？世界にはどれだけの民族がいるのでしょうか。言語だけでもどれだけ人材を育成すれば良いのか見当もつきません。</p> <p>もちろん日本に学びにきて日本で働き、そして自国へ帰っていただくならトラブルのリスクも小さいでしょう。がすでに永住権が簡単に取得できるよう改正されてしまいました。数年の滞在と永住は全く違います。『多文化共生』はあつという間に『移民問題』へと発展するでしょう。現在の各地の例を見れば明らかです。日本だけが上手くいく根拠がないです。百歩譲って「上手くいくかもしれない」としましょう。でもそんな曖昧なものになぜ税金を払わなければならないのですか。令和 52 年を念頭に取り組むのであれば令和 7 年から 45 年。どれだけの資金を注ぎ込むのでしょうか。杉並区民のための政策とは思えません。人口が減るのを防ぐのであれば、杉並区に住む日本人の若い夫婦に子供が生まれたら 100 万いや 300 万とか返済無しの子育て支援金を出してください。『多文化共生』にかかる資金の膨大な裾野を考えるともっとももっともいい。私たち日本人の子孫が増えると思います。家賃高いけど杉並区で子育てしようと外国人でなく日本人が増えます。杉並区に居を構えてもらえます。いずれは税金収入も増えるのではないのでしょうか。</p> <p>『移民問題』はいろいろあります。日本各地で『土葬墓地』の問題も起きています。人としての尊厳に関わる問題です。「我々は土葬だ」「杉並区にはお寺がいっぱいあるのだからなんとかしろ」と主張されたらどうしますか？日本は火葬が原則なので「土葬はダメ」ですむのでしょうか。簡単な日本語で解決できますか？</p> <p>神社仏閣を破壊する国の人、反日教育を受けている国の人と友好関係を作れるのでしょうか。『多文化共生』は安易に進めてはいけない政策です。まず号令をかけた国の法整備が全くできていません。不法移民への対応もまだやっと重い腰を上げようかといったところです。きちんと杉並区の行末を鋭く見極めてください。区議会議員の皆様は杉並区にお住まいでしょうか。子供や孫、その先の世代のことを真剣に考えてください。コミュニティなどと綺麗事ばかりでは問題が起きたらどう責任を取れるのか肝に命じていただきたいです。</p> <p>9 ページの「日本国籍住民に行ったアンケートの中には不安の声が多数あるので解消に努めているが、ヘイトスピーチや誤った情報があり、その防止や正しい情報を発信する必要がある」(略)ですが、いつどこでアンケートを行なったのでしょうか？私を含め周りの人たちもアンケートの存在すら知りませんでした。杉並区を愛する住民の大事な環境でするので極めて重大な問題です。もっともっと調査してください。そして『多文化共生』は今や世界の流れと逆行しています。各地で移民に</p>

	<p>NOと言いだめたところからこれから更に推し進めたら怒涛のように日本に押し寄せてくるでしょう。日本人の日本国でありながら日本人がマイノリティになる未来が来てしまいます。どうか、一旦立ち止まり熟慮してください。よろしく申し上げます。</p>
22	<p>互いを尊重という言葉掲げておられますが、杉並区の学校教育の現場で日本文化を学んでいるのでしょうか？</p> <p>まずは本筋である日本語、日本文学、日本芸術、日本独自の家族の在り方。こちらを学ぶ場を用意されてから、外国の文化を知る。</p> <p>優先順番を間違えていないでしょうか。</p> <p>まず自国のものをきちんと学ばなければ、外のものとの発見は有り得ないと存じます。</p> <p>「わかりやすい日本語による交流」と掲げておりましたが、日本語がそもそも乏しい方々が我々の文化を尊重出来るのか疑わしいです。</p> <p>我々の文化や風習を尊重される方々ならば日本語を勉強してからいらっしゃるのではないですか？</p> <p>こちらに「尊重」を促し、受け入れの強制は侵略と同じだと思います。</p> <p>どうか、慎重にして頂きたい。</p> <p>文化共生を掲げるのであれば、年齢性別人種関係なしに掃除を義務化し、条例化してください。</p> <p>今年のお正月ほど、町が汚れて悲しくなったことはありません。</p> <p>近所の道のどこでもかきこでもゴミを平気で出す輩がいるということに憤りを感じます。</p> <p>誰とも何人ともわかりませんが、今までこの町で住んでいてこんな非常識な出来事はありません。</p> <p>これは住人がどうこう出来る問題ではなく、行政がやって下さらなければゴミだらけのスラム街のような景観になるのもあつという間です。</p> <p>このゴミ出し問題も解決できずに多文化共生などと甘い言葉を言って欲しくありません。</p> <p>どうか真面目に考えて頂きたいです。</p>
23	<p>まず、大前提として、法律やルールを守るようにしてほしいです。ゴミ捨て等地域のルール守るようにしてほしい。ここ1年ほどでルールを守らないごみ捨てが増えた。</p> <p>こういったことのないように、日本の法律、ルールの徹底。治安維持。多文化共生ということは、法律やルールを守らない理由にはなりません。そこからスタートです。</p>